

# 「地域自殺対策緊急強化基金（仮称）」の概要

## 現状と課題

- 自殺者数は、平成10年以降11年連続3万人超（平成20年は32,249人[警察統計]）
- 現下の厳しい経済情勢を踏まえ、追い込まれた人に対するセーフティネットとして、地域における自殺対策の強化が喫緊の課題

## 事業の実施

- 都道府県に当面の3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金（仮称）」（※）を造成。相談体制整備及び人材養成等を緊急に実施
- 地域の実情を踏まえて自主的に取り組む地方公共団体の対策や民間団体の活動等の支援により、「地域における自殺対策力」を強化
- 国は事業メニューを提示し、都道府県が地域の実情を踏まえて実施事業を選択するメニュー方式

（※）詳細は調整中【予算額：100億円（≒47（都道府県）×7千万円×3年間）、補助率：10/10（地方負担なし）、時期：21年度から23年度までの3年間で実施】

